

Natural Farming & Organic Foods



「太陽食品・自然と健康を守る会」 生産者と消費者を喜びと安心の輪でつないで48年

農業や化学肥料に頼らない農業が広がることは自然環境を守ること。自然な農法は、食べる人の健康を守り、作る人を応援します。作る人と食べる人 両者の「喜び」は「安心」の輪を拡げます。行雲流水のごとく生きるのが肌に合うという鶴田重嘉社長にお話を伺いました。オーガニックという言葉も使われていない時代から自然の農法の野菜や果物などの普及を始めた原点は？



太陽食品株式会社
代表 鶴田重嘉



① 太陽食品 鶴田社長からメッセージ

インタビュー Interview

自然食は自分の肌に合う、農業や化学肥料のない自然の農法でつくられたものを食べると、すっきりして、自分の肌に合うと感じます。肌に合わないものは自分にとっては必要のないものだと思う。人も肌に合う人と合わない人がいると思います。

自分の肌に合うものは、食べておいしい、そしてこちよいですね。自然の食事以外のものを食べると何かすっきりしない。肌に合うものは「スキッ」とする。だから人にもいいよと言いたい、人にも紹介したいと。売れるか売れないかではなく、いいものを友人や知り合い、皆さまに紹介したいと思い、自然の農法を生産者と消費者をつなぐことを始めたのです。いいものはいい。今までまだ人々に知られていないものにも、いいものは沢山あります。

私は山が好きで、北アルプスの「立山」は自分の肌にとても合う。いくと



北アルプス立山

私は山が好きで、北アルプスの「立山」は自分の肌にとても合う。いくと

「すーっと」する。その感覚が好きで毎年、皆と一緒に立山に行っています。ほかの山にも色々行って見たが私にとっては立山が肌に合うのです。雪もあり、あらゆるものが備わっている。自分の肌に合うものは、山も食べ物もすきとする。その感覚を大事にして生きてきました。

銀河系も太陽系も小さな微粒子も宇宙は相似形にあるという。それを最先端の科学が解明しつつある時代です。古代の人類は相似形を感じていたのかも知れないが、現代人はその宇宙に満ちる見えない何かを感じる感覚を忘れていると思います。

見える世界だけでなく目には見えない世界、魂というか、霊性というか、他の生物はそれを感じて生きているかもしれない。人間だけが遅れていると思うのです。古代の人々は目には見えない世界を感じ取っていく感性があったかも知れないと思います。

「お天道さまは全てお見通し」という昔の言葉は真理を思っていると思います。何か行動するときは、見えない何か動いていると思うことが沢山あり、偶然の出来事が沢山あります。喜田さんとの再会、音との出会いも何か意味が

あると思っています。

頭で考えると頭で理解しますが、感性を磨いて感性で感じ、それを軸に生きるほうが私には合います。行動する

とき頭で考えると遅くなる、感性を磨いた人のほうが早く大事なことに気付き早く行動できると思います。

真理に素直が一番です、その中で感性を磨くことが大事だと思います。自分は少し変わっているかもしれないが、行動するときに思いがけない応援が常にどこからやってくるのです。

今までは人類が墮落しないようにと、教えたのが宗教だったかも知れないが、これからは宗教以外で人間の霊性を高めることができるようになるのかも知れない。その一つが大自然の恵みの食べ物であったり、音であったりすると思います。

これから時代が変わるといふより、今まで知らなかったこと、表れていなかったものが表れてくる時代になると思



生産者と消費者の集い



生産者と消費者の集い



新茶摘みツアー

ます。量子物理学などがこれから明らかにすることかもしれないが、それは感性のよい、偉大な賢者や宗教家などが、語ってきたことかもしれません。

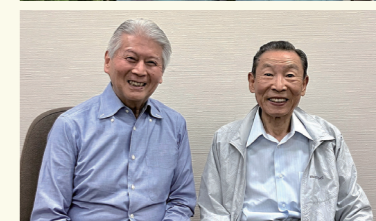
私は人のために生きるというより、真理のために生きる、「今」という瞬間を大事にして真理を生きるために仕事をするほうがしっくりくる。もし神がいるなら神はどういう生き方をするのか、それを探求するのが好きです。それが一番すきとします。行雲流水のごとく生きるのがすっきりします。これまで大変でしたね、と人から聞かれるが、苦勞をしたとは思いません。

私は常に明るい心で生きるのが好きです。生真面目にむずかしい顔して、一生懸命に生きるというより、楽しく、朗らかに、明るい心で今を生きるのが自分には合っています。社会に迎合して、自分がえらいんだ、と思うようになってしまふのはつまらないことです。

会社の倉庫に保管している野菜や果物などにサウンドヒーリング協会が監修した自然音を24時間聞かせています。音でよりおいしく出荷しています。事務所や各店舗にも自然音を流していますが、やはりいいですね。そして、これから食事がおいしくなる器も発売しようと準備しています。楽しみにしてください。



太陽食品店舗



25年ぶりに再会した鶴田社長と喜田理事長



太陽食品
公式サイト

www.shizen-taiyo.com

米国サウンドヒーリングセラピストからのメッセージ

Brian Elliot Kahn ブライアン・エリオット・カーンさん (マサチューセッツ州在住)
▶ オーダー家具店経営、シェフ、Bodyworker 2018年サウンドヒーリング協会認定資格取得

食べ物も音も心と体に影響を与える力を持っている。

食べ物は子供のころからいつも興味がありました。食べ物によって何かがもたらされる感じがしていました。大学生になり自分の食事は自分でつくるようにしました。冬には肉類を食べないダイエットなど自主的に行っていました。1990年代中頃あるパーティーに参加したとき「Power of Food」について話をすると人々と会いました。それは「食べ物には病気を治す力がある、食べ物で内なる癒しの力を高めるライフスタイル」という内容でした。とても興味があったので、レシピなどもお聞きして自分で試すことにしました。その食事を10日ほど続けた頃、友人と話をしていると、自分の話すスピードがいつもよりゆっくりで、丁寧に人の話を聞いているのに気づきました。

その食事は無農薬の野菜中心の食事を丁寧に作り、意識して食べるマクロビオティックでした。自分の心と体は、何を、どのように食べるかで決まると認識するきっかけになり、今もそれを続けています。そのお陰もありHolistic クルーズの船で日本からの



2018年アリゾナ研修にて

KITAサウンドヒーリングと出会いました。音も食べ物も人に大きな影響を与えると実感しています。私の自宅は近くにオーガニックの野菜農家があり、自分で野菜を買いに行き、妻と二人の食事は私が作ります。同じ食材でも料理に含まれる大切なエネルギーは心のあり方で変わると思っています。喜びの心を満たして調理することは、おいしい料理をつくる為にとても大事です。音も、激しい音楽ばかり聞いていると、脳がそれを求めて、心地よい自然の音には刺激が足りないと感じる人がいるかも知れません。同じように味の強い濃いものや加工食品を常に食べていると、本当は体が必要としている食べ物がわからなくなると思っています。自分の食べているものが、自分が食べたいと思うものを導くと考えています。自分の好みは、食べているものから影響を受けて、それを欲しがるのです。自分の好みを変えたときは、一度に食べ物を食べるのではなく、少しずつ良いものに変えていくのがよいと思います。強い刺激が社会にあふれている時代だからこそ、内なる安定した感覚を磨くためにも、自然な物を食べて、心地よい音を聞くことが大事だと思います。今、定期的にニューヨーク郊外に住む96歳になる母の家に行き、指圧とサウンドヒーリングを行っています。この母との特別な交流は、両者にいつながりを築く、明るいインパクトのある時間です。喜田さんと話をするときにも、しばしばこの母と私の素敵な絆の変化をお話しています。



96歳のお母様と